

【新舞鶴】口春日▲吾妻▲平戸▲口若葉、潮、朝風、
子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、磯風、天津風、
濱風、波風、口水七三、水七二、水七四、水七五、
大泊▲

【鎮海】口楠、桂、梅、楓

【所安島】口筑摩

【旅順】口浦波、綾波、磯波

【南洋群島】口勝力、松江

【浦鹽】口日進

【尼港】口千早

【オゼルバフ】口鞍馬丸、第十八小野丸

【ソフイスク】口夕立、白露、夕暮

【マガ】口三日月

【ペ港】口樺、檜

【オセルナヤ】口新高、八雲

【漢口】口嵯峨、隅田

【長沙】口宇治

【宜昌】口伏見

【重慶】口鳥羽

【サントス】口ト淺間、磐手、出雲

【航海中】

能登呂(七日吳發「タラカン」へ)
野間(十二日横須賀發「タラカン」へ)

ト對馬(十四日上海發漢口へ)

須磨(十四日上海發佐世保へ)

膠州(十六日「オゼルナヤ」發横須賀へ)

神威(十六日「カムデン」發「テラウエヤ」灣外へ)

洲崎(十六日横須賀發大湊へ)

武藏(十七日「ベ」港發室蘭へ)

佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)

日向(十八日舞鶴發佐世保へ)

明石(十八日測量地發横須賀へ)

野島(十八日「ベ」港發「オゼルナヤ」へ)

駒橋(口潜三三、潜一九、口潜二七、潜三三、潜二四、
潜三七)十九日安下庄發下松へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第十五驅逐隊司令ハ本月十七日司令驅逐艦ヲ藤ヨリ萩
ニ變更セリ

○特務艦神威内地回航行動豫定

地名	著	發
府		九月二十六日
紐育		九月二十七日
ノック		十月二日
オーク		十月三日
		五日

0276

ロ ボ ス	十三日	十五日
ベ ラ ク ル ー ズ	十六日	二十二日
コ ロ ン	二十八日	二十八日
バ ナ マ	二十八日	十一月一日
ホ ノ ル	十一月二十日	二十五日
徳 山	十二月十日	十二月十三日
横 須 賀	十五日	

○第十八小野丸行動豫定

地名	著	發
オ ゼ ル バ フ		九月二十一日
泥 港	九月二十二日	二十二日
小 樽	二十七日	二十九日
大 樽	十月一日	二日
小 樽	三日	四日
大 樽	六日	

○虎列刺發生報

本月十七日福岡縣筑紫郡一名眞症ト決定
 既報島根縣八束郡千酌村ノ一名ハ十七日眞症ト決定、
 系統福岡縣
 本月十日福岡縣若松港發十二日慶尚南道昌原郡廳到著
 石炭運搬船乗員六名檢便ノ結果内二名ハ虎列刺保菌者
 ト決定（九月十八日內務省衛生局）

廣島縣倉橋嶋村字室尾ニ十六日男一名發病十八日疑似
 虎列刺ト診定（九月十八日吳鎮守府軍醫長電）

海軍公報 第二千九百八十五號 大正十一年九月十九日 (部内限一頁) 九〇三

0277

海軍公報

第二千九百八十六號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十日(水)

○令 達

官房第三二一七號

來ル二十四日秋季皇靈祭同神殿祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ヘシ

大正十一年九月二十日

海軍大臣男爵加藤友三郎

一、午前九時四十分賢所參集所へ參集スヘキ者

親任官、勅任官、同待遇

一、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スヘキ者

奏任官、同待遇並判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スヘキ者
位勳ヲ有セサル判任官、同待遇

○通 牒

官房第三二二二號ノ四

大正十一年九月二十日

海軍次官 井出 謙 治

各 鎮 守 府 司令長官殿
第一、第三艦隊

朝鮮在籍船山王丸不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ應シタル末今般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第二九號

不開港場寄港免狀

- 一、船 名 山王丸
- 一、船 籍 日本
- 一、船 種 汽船
- 一、船主氏名及國籍 日本人 水谷九二吉
- 一、船長氏名及國籍 日本人 田中俊夫
- 一、總原山噸 三噸三三四三噸七八

海軍公報 第二千九百八十六號 大正十一年九月二十日

九〇五

0278

一、使用ノ目的 貿易

北海道

後志國

第沼

天鹽國

増毛、留萌、鬼鹿、濱中、古丹別、苫前、

羽幌、初山別、風速別、天鹽

焼尻島、天賣島、利尻島、禮文島

北見國

稚内、聲間、宗谷、ナイワドロ、猿拂、

山軽、頓別、枝幸、ウエンナイ、乙忠部、

フーレス、幌内、雄武、澤木、藻籠、

瑠璃、中湧別、下湧別、鑑湧、常呂、

能取、最寄、網走、壽湧、斜里、タンネワシ、

蒼瑯

根室國

根室

釧路國

濱中、厚岸、釧路

膽振國

幌別、絞籠、虻出、辨邊

禮文、長萬部、國縫、八雲、野田返

本州

周防國

徳山、三田尻、下松

安藝國

廣島、吳

備後國

木原、糸崎、尾ノ道

播磨國

大鹽

紀伊國

勝浦、鹽津、下津

尾張國

武豊、半田

駿河國

江尻

相模國

浦賀、横須賀

羽前國

荻之港

羽後國

椿、能代、船川、土崎、酒田

陸中

釜石

越後國

直江津、柏崎

越中

伏木

九州

筑前國

今宿、戸畑、煙濱、西戸崎

肥前國

伊萬里、福島、佐々、松島、崎戸島

佐世保

薩摩國

鹿兒島

右不開港場へ寄港シ並各寄港地間ニ於テ旅客及物品ヲ運送スルコトヲ特許ス

本免狀有効期間ハ大正十一年九月十七日ヨリ大正十二年三月十六日迄トス

但必要ノ節ハ同期間内ト雖右特許ヲ取消スコトアルヘシ

大正十一年九月十六日

逓信大臣

○艦船所在

指印ハヘカニ
指定ヲ要セス

○九月二十日午前十時調

【横須賀】

加賀、山城、榛名、朝日、三笠、鳳翔、

長良、滿州、安宅、日野風、沼風、日暮風、海風、

沖風、矢風、日帆風、夕風、夕風、太刀風、日秋風、

海軍公報 第三千九百八十六號

大正十一年九月二十日

九〇七

灘風、羽風、島風、日春風、初春、初雪、日追風、

疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、日潛九、日潛八、

日潛一四、日潛一五、日潛四〇、日潛四一、日潛四六、日潛五八、

日鷗、鴻、雉、白鷹、富士、尻矢、關東、青島、

【石川島】 蘭

【浦賀】 五十鈴

【清水】 北上

【青森】 陸奥

【大湊】 日長門、伊勢、日金剛、霧島、比叡、

日木曾、大井、球磨、多摩、日天龍、日萩、藤、薄、日竹、

日榎、日梨、日桃、日楡、日栗、日梅、日菱、日葦、日矢矧、日韓崎、

日潛二九、日潛二八、日潛三〇、日潛三五、日潛三四、日潛三六、

日潛三九、日潛三八、日宮、日阿蘇、日如月、日神風、日初霜、

日響、日吹雪、日有明、日椿、日桑、日潛二六、日潛二五、日洲崎、

【吳】 日土佐、日扶桑、日攝津、日鹿島、日香取、日伊吹、

日千歲、日日菊月、日長月、日水無月、日卯月、日潛一〇、

日潛一一、日潛一二、日潛一三、日潛一六、日潛一七、

日潛二〇、日潛四四、日潛五一、日大和、日室戶、日劍崎、日鶴見、

【大阪】 日石廊

【神戸】 日鬼怒、日颯二、日潛四七、日潛五七

【安下庄】 日谷風、日江風、日菊、日葵

【下松】 日駒橋、日潛二三、日潛一九、日潛二七、

日潛二二、日潛二四、日潛三七

【徳山】 日高崎

【佐世保】 日由良、日名取、日龍田、日肥前、日鞍馬、日生駒、

【新舞鶴】 口春日、吾妻、平戸、口若葉、潮、朝風、
 子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、磯風、天津風、
 濱風、波風、口水七三、水七二、水七四、水七五、
 大泊、
 【鎮海】 口楠、桂、梅、榎
 【木浦】 口筑摩
 【旅順】 口浦波、綾波、磯波
 【南洋群島】 口勝力、松江
 【浦鹽】 口日進
 【尼港】 口千早
 【オセルバフ】 口鞍馬丸、第十八小野丸
 【ソフィスケ】 口夕立、白露、夕暮
 【マカガ】 口三日月
 【ベ港】 口樺、楨
 【漢口】 口新高、八雲
 【長沙】 口雙峨、隅田
 【宜昌】 口宇治
 【重慶】 口伏見
 鳥羽

【航海中】
 能登呂(七日)吳發「タラカン」へ)
 野間(十二日)横須賀發「タラカン」へ)
 對馬(十四日)上海發漢口へ)
 膠州(十六日)「オセルナヤ」發横須賀へ)
 武藏(十七日)「ベ」港發室蘭へ)
 佐多(十八日)横須賀發「タラカン」へ)
 日向(十八日)舞鶴發佐世保へ)
 明石(十八日)測量地發横須賀へ)
 野島(十八日)「ベ」港發「オセルナヤ」へ)
 安藝(薩摩)十九日佐世保發横須賀へ)

○雜款

○軍艦日向日行動豫定

地名	著	發
佐世保		九月二十八日
元山		九月三十日
釜山		十月六日
鎮海		十月十日
長崎		十月十六日
		十月十七日
		二十日

佐世保 二十一日 十一月一日
 鹿兒島 十一月二日 四日
 別府 五日 七日
 吳 七日

(備考) 一、馬山浦又ハ統營ニ寄港スルコトアルヘシ
 二、長崎ヲ島原海灣ニ變更スルコトアルヘシ

○特務艦洲崎行動豫定

地名	著	發
横須賀		十月三十一日
タラカン		十一月四日
舞鶴		十一月十六日
タラカン		十二月七日
横須賀		十二月十一日
		二十二日

○虎列刺發生報 (九月十九日)

十七日長崎縣大島沖ヨリ博多入港ノ發動機漁船第三惠美壽丸船員一名十八日眞症ト決定、同「カクユイ」丸船員一名同日保菌者發見
 島根縣八束郡片江村發動機漁船杉ノ浦丸十七日長崎縣平戸發歸航中福岡縣糟屋郡相島附近ニテ船員七名ノ内二名發病歸航困難ノ爲メ十八日下ノ關入港同日疑似虎列刺ト決定

十八日長崎縣對馬察村小鹿ニ一名、同縣壹岐郡郷野浦二名眞症發生
 十七日報中壹岐郡波良村一名ハ十八日眞症ト決定
 十八日熊本市新町二丁目一名疑似虎列刺發生

海軍公報

第二千九百八十七號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十一日(木)

○通牒

經豫第四一八號

大正十一年九月二十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

海軍會計規程ニ依リ毎月提出相成ルヘキ報告書ハ前月ト異動ナキ時ハ其旨報告ヲ要スル儀ト御承知相成度右通達ス

(明治三十四年六月經一第二七四號ハ自然消滅)

○辭令

海軍技手 山田 學一

同 加藤 信吉

(各通)

同 志田 市太郎

同 黒川 銖治郎

同 田邊 一雄

同 田中 宮次

隨朝ヲ命ス(請_レ海軍省)

(各通)

海軍中將 加藤 寛治

海軍少將 大角 岑生

海軍大佐 左近司 政三

同 藤田 尙徳

海軍武功調査委員ヲ命ス(請_レ海軍省)

海軍造兵中佐 黒川 慶次郎

第一部勤務ヲ命ス(請_レ海軍艦政本部)

○艦船所在

▲印(ハ、ホ)ノ指定ヲ要セス

○九月二十一日午前十時調

【横須賀】

加賀、山城、榛名、朝日、三笠、鳳翔、

長良、滿州、安宅、明石、口野風、沼風、口峯風、澤風、

沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、太刀風、口秋風、

灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、

疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潜九、潜八、

口潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、潜四六、潜五八、

口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、尻矢、關東、青島、

【石川島】

龍

海軍公報 第二千九百八十七號

大正十一年九月二十一日

九二一

0283

▷對馬(十四日上海發漢口へ)
 膠州(十六日「オセルナヤ」發橫須賀へ)
 武蔵(十七日「ベ」港發室蘭へ)
 佐多(十八日橫須賀發「タラカン」へ)
 安藝、薩摩(十九日佐世保發橫須賀へ)
 子日(二十日鶴鶴發三國沖へ)
 高崎(二十日德山發佐世保へ)
 野島(二十日「オセルナヤ」發舞鶴へ)

○雜款

○郵便物發送先變更(九月十八日)
 驅逐艦藤死
 本日以後
 吳

○郵便物發送先
 特務艦室戸宛
 九月二十七日迄到著見込ノモノハ
 十月一日迄同 佐世保
 同 五日迄同 吳
 同 十一日迄同 佐世保
 其ノ後ハ 吳
 横須賀

○滞在地變更

海軍主計中尉荒木進一ハ横須賀ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀九月二十日認許セラレタリ

○虎列刺發生報(九月二十日)
 内務省衛生局
 十七日報長崎縣北松浦郡平戸町疑似症一名ハ十九日眞症ト決定
 十九日報熊本市新町三丁目疑似症一名ハ十九日眞症ト決定
 十九日報下ノ關ニ入港ノ杉ノ浦丸乗員疑似症二名ハ同日眞症ト決定、同船殘員五名中二十日更ニ一名眞症、一名疑似症ト決定
 既報廣島縣安藝郡倉橋島村ノ疑似症一名ハ檢便ノ結果虎列刺菌陰性(九月十八日吳鎮守府軍醫長報告)

海軍公報 第二千九百八十七號 大正十一年九月二十一日 (部内限二頁) 九二三

海軍公報

第二千九百八十八號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十二日(金)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月二十二日午前十時調

【横須賀】

加賀、山城、榛名、朝日、三笠、鳳翔、

長良、滿州、安宅、明石、野風、沼風、峯風、澤風、

沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、太刀風、秋風、

灘風、羽風、島風、春風、初春、初雪、追風、

疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、潜九、潜八、

潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、潜四六、潜五八、

潜四、雉、白鷹、富士、尻矢、關東、青島、

【石川島】

魚

【浦賀】

五十鈴

【大湊】

長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、

木曾、大井、球磨、多摩、天龍、萩、藤澤、葛、竹

柳、梨、樺、楡、栗、榊、菱、磯、葦、矢矧、韓崎、

潜二九、潜二八、潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、

潜三九、潜三八、若宮、阿蘇、如月、神風、初霜、

響、吹雪、有明、椿、桑、潜二六、潜二五、洲崎、

吳、土佐、扶桑、薩津、鹿島、香取、伊吹、

千歲、菊月、長月、水無月、卯月、潜一〇、

潜一一、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、
潜二〇、潜四四、潜五一、大和、室戶、劍崎、簡見

【大阪】

石廊

【神戸】

鬼怒、潜二、潜四七、潜五七

【安下庄】

江風、菊、葵、駒橋、潜二三、
潜一九、潜二七、潜三二、潜三四、潜三七

【佐世保】

日向、由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、
生駒、敷島、須磨、常磐、最上、淀、榊、柏、松、

杉、檜、樺、柳、黎、蓮、白雲、野分、

松風、潜二一、潜一八、潜三三、潜三二、
潜四五、潜六二、潜六、雲雀、鶴、知床、襟裳、高崎

【馬公】

利根、櫻、橘、樺、桐、潜四三、
潜四二

【新舞鶴】

春日、吾妻、平戸、若葉、潮、朝風、

海風、山風、檜、榎、時津風、磯風、天津風、

濱風、波風、水七三、水七二、水七四、水七五、
大泊

【鎮海】

楠、桂、梅、楓

【南洋群島】

勝力、松江

【浦鹽】

日進

海軍公報 第二千九百八十八號

大正十一年九月二十二日

九一五

0286

【尼 港】 千早、日夕立、白露、夕暮
 【オセルハブ】 鞍馬丸、第十八小野丸
 【マ ガ】 三日月
 【ベ 港】 巨櫓、旗
 【モルヤヨロ】 新高、八雲
 【漢 口】 蟻賊、隅田
 【長 沙】 宇治
 【宜 昌】 伏見
 【重 慶】 鳥羽
 【サントス】 浅間、磐手、出雲
 【カムデン】 神威

【航海中】
 能登呂(七日吳發「タラカン」へ)
 野間(十二日横須賀發「タラカン」へ)
 対馬(十四日上海發漢口へ)
 膠州(十六日「オセルナヤ」發横須賀へ)
 武蔵(十七日「ベ」港發室蘭へ)
 佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
 安藝、薩摩(十九日佐世保發横須賀へ)
 子日(二十日舞鶴發三國沖へ)
 野島(二十日「オセルナヤ」發舞鶴へ)
 筑摩(二十一日木浦發鎮南浦へ)
 浦波、綾波、磯波(二十一日旅順發安東へ)
 北上(二十二日清水發横須賀へ)

○特務艦青島行動豫定

地名	著	發
横須賀	十月一日	九月二十八日
吳山	十月四日	十月四日
德山	十月十四日	十月八日
佐世保	十月十四日	十月十三日
鎮海	十月二十一日	十月十八日
旅順	十一月二日	十一月二十五日
舞鶴	十一月七日	十一月三十一日
德山	十一月十日	十一月十日
吳山	十一月十六日	十一月十三日
横須賀	十一月三十日	十一月二十七日
大須賀	十二月八日	十二月五日
横須賀	十二月八日	十二月五日

○在外武官宿所
 獨國駐在海軍主計少佐佐々木重藏ハ宿所ヲ左記ノ所ニ定メタリ

bei Captain Araki
 Berlin, Schöneberg,
 Bamberger Str., 42

0287

○虎列刺發生報(九月二十一日
内務省衛生局)

既報杉ノ浦丸疑似症一名ハ二十日眞症ト決定、同船乗
組員中一名同日保菌者發見
二十日長崎縣壹岐郡石田村ニ眞症一名發生
釜山ヨリ對馬、平戸ヲ經テ長崎入港ノ汽船對馬丸ハ壹
岐ヨリ乘船平戸ニ上陸ノ船客中ニ眞症一名發生ニ付港
外ニ停船檢便中二十日更ニ乗組水夫一名保菌者發見
夫々處置済、港内ニハ病毒投入ノ疑無シ

海軍技手遠藤且見ハ本月二十日死去セリ

海軍公報

第二千九百八十九號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十三日(土)

○通牒

官房第三二四九號

大正十一年九月二十三日

海軍省副官 藤田 尙德

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ
右通牒ス

記

漁獲物陸揚港	長崎、博多、下關
許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年
制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
許可年月日	大正十一年九月十八日
軍需第一號五〇三	
大正十一年九月二十三日	
海軍省軍需局長 中里 重次	
各工廠長殿	
今般達第百七十二號ヲ以テ短艇敷物制式改正相成候處 差當リハ左記ニ據リ在庫品及供用品ヲ可成速カニ改造 供給(豫算外)ノ事ニ御取計相成度 右依命申進ス	
許可番號	第七八號
住所	北海道函館市仲濱町十五番地
氏名又ハ名稱	樺太漁業株式會社
船名	第七鵜丸
操業區域	東海及黃海

海軍公報 第二千九百八十九號 大正十一年九月二十三日

九一九

0289

【鐵南浦】 統摩
 【安東】 日浦波、綾波、磯波
 【南洋群島】 勝力、松江
 【浦鹽】 日進
 【尼港】 千早、日夕立、白露、夕暮
 【オセルバン】 鞍馬丸、第十八小野丸
 【マガ】 三日月
 【ベ港】 日樺、檣
 【オセキヤ】 新高、八雲
 【漢口】 煙鏡
 【宜昌】 伏見
 【重慶】 鳥羽
 【サントス】 下淺間、箬手、出雲
 【カムデン】 神威

【航海中】
 能登呂(七日吳發「タラカン」へ)
 野間(十二日横須賀發「タラカン」へ)
 對馬(十四日上海發漢口へ)
 武藏(十七日「ベ」港發室蘭へ)
 佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
 野島(二十日「オセルナヤ」發舞鶴へ)
 網田(二十二日漢口發長沙へ)
 宇治(二十二日長沙發漢口へ)

海軍公報 第二千九百八十九號 大正十一年九月二十三日

○ 雜 款

○ 驅逐艦進水

大阪藤永田造船所ニ於テ建造ノ第十六驅逐艦本日午前八時進水セリ

○ 郵便物發送先

軍艦日向宛

九月二十七日迄到著見込ノモノハ 佐世保
 十月四日迄同 元山
 同 九日迄同 釜山
 同 十五日迄同 鎮海
 同 十九日迄同 長崎
 其ノ後ハ 佐世保

○ 特務艦室月行動豫定中變更(九月一日本欄参照)

佐世保發九月二十八日ヲ二十六日ニ、吳著九月三十日ヲ二十八日ニ變更セリ

○ 英艦寄港

英國支那艦隊 旗艦「ダーバン」(Durban) 來ル二十五日横濱入港同二十八日迄在泊ノ豫定

(註) 本月十四日本欄掲載ノ旗艦「ホーキンス」ヲ「ダーバン」ニ變更シタルモノナリ

0291 ✓

○虎列刺發生報(九月二十二日)
(内務省衛生局)

長崎縣北松浦郡平戸ヨリ十八日下ノ關ニ入港ノ發動運搬船「ノオヒ」丸乗組員一名檢便ノ結果二十一日眞症ト決定

十七日報中長崎縣北松浦郡大島村安土港内發動機漁船乗組員疑似二名ハ二十日陰性ト決定外ニ疑ハシキ患者八名アリ

十六日報長崎市患者家族隔離中ノモノ一名二十一日眞症發生

長崎縣北松浦郡大島村ヨリ十八日島根縣那賀郡濱田港ニ歸來セル發動船乗組員一名二十一日疑似症ト決定

八幡市ニ眞症一名發生患者ハ福岡縣筑紫郡暨粕町患者ノ親族ニテ十九日同町ヨリ八幡市ニ旅行シ二十日旅館ニテ發病

熊本市ニハ其ノ後患者及保菌者無ク病毒散蔓ノ狀況無シ

海軍少佐從六位勳四等 栗田稔 九月二十一日死去、
二十二日午後三時三十分金剛ニ於テ告別式ヲ施行ス

新高殉職者海軍大佐古賀琢一、同中佐園周次、同機關中佐飯村重道、同大尉村山俊藏、同機關大尉岩淵源吾、同大尉藤城錦之助、同大尉中川辰藏、同機關大尉小野鉄吾、同中尉淺羽源司、同少尉袴田烈、通譯囑託朝倉虎次郎ノ葬儀ハ九月三十日正午東京築地水交社出棺午後二時青山齋場ニ於テ海軍葬儀ヲ神式ニ依リ施行ス

新高殉職者海軍少佐宮島良澄、同主計大尉吉井五左衛門、同中尉太田秋藏、同少尉眞崎利吉、同機關少尉木村秀一外特務士官、准士官、下士官兵ノ葬儀ハ九月二十九日午後一時舞鶴下士官兵集會所出棺海軍團雪中練兵場ニ於テ海軍葬儀ヲ佛式ニ依リ施行ス

(部内限二頁)

0292

海軍公報

第二千九百九十號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十五日(月)

○令達

官房第三二六六號

大正十一年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十一年九月二十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

海軍火藥廠作業會計歳出

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略號
(海軍火藥廠 作業費)	(俸給)	(奏任俸給)				
			△ 造兵科			
			士官			
						ナ

○辭令

(各通) 海軍技手 吉田 憲太郎
同 伊東 小一
歸朝ヲ命ス(詰海軍省)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月二十五日午前十時調

【横須賀】 加賀、山城、安藝、薩摩、樺名、朝日、

三笠、鳳翔、長良、北上、高州、安宅、野風、沼風、

巨峯風、澤風、沖風、矢風、帆風、夕風、夕風、

太刀風、秋風、灘風、羽風、島風、春風、

初春、初雪、追風、疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、

潜九、潜八、潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、

潜四六、潜五八、潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、

關東、青島、膠州

【石川島】 五十鈴

【浦賀】 五十鈴

【國館】 長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、

木曾、大井、球磨、多摩、天龍、萩、薄、為、竹、

梶、梨、樺、栗、梅、菱、葦、矢矧、韓崎、

潜二九、潜二八、潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、

潜三九、潜三八、若宮、阿蘇、如月、神風、初霜、

響、吹雪、有明、椿、桑、潜二六、潜二五、洲崎、

吳、土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、

海軍公報 第二千九百九十號 大正十一年九月二十五日

九二三

0293

駒橋、千歳、口菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三、潜一六、潜一七、口潜二三、潜二九、口潜二七、潜三二、潜三四、潜三七、潜二〇、潜四四、潜五一、大和、劍崎、鶴見

【大阪】 石廊、驅一六、鬼怒、驅二、潜四七、潜五七

【神戸】 日向、由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、敷島、須磨、常磐、最上、淀、口神、柏、松、杉、口檜、檉、桃、柳、口蓼、蓮、口白雪、掖、野分、松風、口潜二一、潜一八、口潜三三、潜三二、潜三一、潜四五、潜六二、口鷲、鶯、雀、鶴、知床、襟裳、室戸

【馬】 利根、口櫻、橘、樺、桐、口潜四三、潜四二

【新舞鶴】 口春日、吾妻、平戸、口若葉、湖、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮海】 口楠、桂、梅、楓

【鎮南浦】 口筑摩

【安東】 口浦波、綾波、磯波

【南洋群島】 口勝力、松江

【浦】 口日進

【尼港】 口千早、口夕立、白鹿、夕暮、鞍馬丸、第十八小野丸

【オセルバフ】

【マ】 三日月
【ガ】 口櫻、楓
【ベ】 新高、八雲
【オセルバフ】

【淡】 口對馬、嵯峨、宇治
【宜】 口伏見
【重】 口鳥羽

【タラカン】 口能登呂
【サントス】 口淺間、磐手、出雲
【カムデン】 口神威

【航海中】 野間(十二日)横須賀發「タラカン」へ、佐多(十八日)横須賀發「タラカン」へ、野島(二十日)「オセルバフ」發舞鶴へ、畑田(二十二日)漢口發長沙へ、藤(二十三日)大湊發吳へ、高崎(二十四日)佐世保發基隆へ、明石(二十五日)横須賀發測量地へ、武蔵(二十五日)室蘭發函館へ

○ 雜款

○ 郵便物發送先 軍艦明石宛

十月四日迄到着見込ノモノハ 共ノ後ハ 軍艦安宅宛 自今 第二十二驅逐隊司令部、楠、梅宛 十月二日迄到着見込ノモノハ 共ノ後ハ 桂、楓宛 十月三日迄到着見込ノモノハ 其ノ後ハ	横須賀 吳 佐世保 佐世保	横須賀 大坂 佐世保 横須賀 大坂 佐世保	着 九月二十八日 十月四日 十月四日 九月二十七日 十月一日 十月四日	特務艦佐多行動豫定變更 <small>(八月十一日)</small> <small>(本編参照)</small> 地名 着 十月一日 八月八日 十月四日 十月十二日 十月二十日 十月三十日
タラカン 十一月十日 十一月十四日 馬山 二十一日 二十三日 徳山 二十九日 十二月三日 佐世保 十二月四日	○事務所設置 第一驅逐艦艦裝員事務所ヲ長崎三菱造船所内ニ設置シ 本月二十八日ヨリ事務ヲ開始ス <small>(九龍第一驅逐艦艦裝員長)</small>	豫備役海軍機關中將正四位勳二等功五級山田英之助 九月二十四日卒去、來二十六日午後二時ヨリ三時 迄青山齋場ニ於テ佛式ニ依リ告別式ヲ施行		

海軍公報 第二千九百九十號 大正十一年九月二十五日 (部内限一頁) 九二五

0295

海軍公報

第二千九百九十二號

大正十一年九月二十六日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第三二七〇號

大正十一年九月二十六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

宮中席次第一階ノ身位ヲ有スル諸官殿

御結婚ニ關スル件

來ル二十八日皇太子裕仁親王殿下御結婚成約奉告ノ儀
被爲行候ニ付當日午前九時三十分賢所參集所へ參集ス
ヘシ

服裝 正裝 大禮服

(參照)

宮中席次第一階ノ身位ヲ有スル者

親任官、勳一等

○通牒

海軍公報 第二千九百九十一號

大正十一年九月二十六日

九二七

經庶第一七五號

大正十一年九月二十六日

海軍省 經理局

各應 御中

鐵道託送貨物運賃後拂ノ件

大正四年三月十二日經庶第一一號ノ三鐵道託送貨物運
賃後拂ノ件中左記ノ通追加來十月一日ヨリ實施ノコト
ニ鐵道省運輸局ト協定ス
右通知ス

記

海軍火藥廠ノ次ニ

山口縣徳山

海軍燃料廠

ヲ加フ

○辭令

海軍機關少佐 木村 香苗
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

勳七等 西川 幸次郎

海軍兵學校柔道教員ヲ囑託ス

但部内限リ判任待遇トシ報酬月額七拾圓ヲ給ス
(海軍教育本部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月二十六日午前十時調

【横須賀】 加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、

三笠、鳳翔、長良、北上、蒲州、安宅、野風、沼風、

峯風、澤風、沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、

太刀風、秋風、灘風、羽風、島風、春風、

初春、初雪、追風、疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、

潜九、潜八、潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、

潜四六、潜五八、潜一〇、潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、

關東、青島、膠州

【石川島】 五十鈴

【浦賀】 樺、桑、潜二六、潜二五、洲崎

【大湊】 長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、

函館、木曾、大井、球磨、多摩、天龍、萩、薄、島、竹、

榎、梨、樺、檜、栗、梅、菱、磯、葦、矢矧、韓崎、

潜二九、潜二八、潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、

潜三九、潜三八、若宮、阿蘇、如月、神風、初霜、

響、吹雪、有明、武蔵

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、

駒橋、千歲、菊月、長月、水無月、卯月、谷風、

江風、菊、葵、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、

潜一六、潜一七、潜二二、潜二三、潜一九、潜二〇、

潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、潜五一、

大和、劍埼、鶴見

【大阪】 石廊、驅一六

【神戸】 鬼怒、驅二、潜四七、潜五七

【佐世保】 日向、由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、

生駒、敷島、須磨、常磐、最上、淀、榎、柏、松、

杉、檜、櫻、桃、柳、蓮、蓬、白雲、檜、野分、

松風、潜二一、潜一八、潜三三、潜三二、潜三一、

潜四五、潜六二、潜一、潜二、雲雀、鶴、知床、襟裳、室戸

【長崎】 驅一

【馬公】 利根、櫻、橘、樺、桐、潜四三、

潜四二

【浦 壘】 日進
 【亞 港】 夕暮、三日月
 【泥 港】 日夕立、
 【尼 港】 千早、白露
 【オセルバフ 港】 鞍馬丸、第十八小野丸
 【ベ 港】 日標、楳
 【オセルナナ 港】 新高、八雲
 【漢 口】 對馬、宇治
 【宜 昌】 伏見
 【長 沙】 隅田
 【重 慶】 鳥羽
 【タラカン 港】 能登呂
 【サントス 港】 淺間、磐手、出雲
 【カムデン 港】 神威

【航海中】

野間(十二日横須賀發「タラカン」へ)
 佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
 野島(二十日「オセルナナ」發舞鶴へ)
 藤(二十三日大湊發吳へ)
 高崎(二十四日佐世保發基隆へ)
 明石(二十五日横須賀發測量地へ)
 日春日、榎、橋(二十五日舞鶴發浦潮へ)
 筑摩(二十五日鎮南浦發鎮海へ)

嵯峨(二十五日漢口發宜昌へ)
 海風、山風(二十五日舞鶴發)
 梅(二十五日鎮海發木浦へ)

○ 雜 款

○ 總代
 來ル二十八日皇太子裕仁親王殿下御結婚成約奉告ノ儀
 被爲行候ニ付勅任官總代トシテ當日賢所參集所へ參集
 スヘキ旨左記へ通達セラレタリ
 海軍少將 竹 内 重 利

○ 驅逐艦進水
 長崎三菱造船所ニ於テ建造ノ第一驅逐艦昨二十五日午
 前十時四十分進水セリ

○ 郵便物發送先變更(八月二十二日)
 特務艦野間宛
 當分ノ間
 新舞鶴郵便局氣付

○ 電話番號變更
 海軍教育本部第三部長
 青山 一八〇〇番 海軍機關少將 池田岩三郎

○虎列刺發生報 (九月二十三日) (內務省衛生局)

福岡縣絲島郡福吉村ニ二十二日眞症一名發生
島根縣那賀郡濱田港ノ發動船乘組員既報疑似症一名ニ
十二日眞症ト決定、同船員ノ内他ニ一名保菌者發見
同縣八東郡千酌村大字笠浦ニ發生ノ患者ト同時ニ歸來
セル大成丸乘組員二十二日保菌者ト決定
旅順要港部軍醫長電
十七日神戸ヨリ秦皇島ヲ經テ大連入港汽船智利丸船員
三名及同市内支那人一名共ニ眞症ト決定

○虎列刺發生報 (九月二十五日) (內務省衛生局)

長崎縣北松浦郡大島村ノ疑似患者五名、二十三日及二
十四日眞症ト決定

同縣 累計

眞症 一七
保菌者 一

福岡縣絲島郡福吉村眞症一名發生

同縣 累計

眞症 一七二
疑似症 一二
保菌者 三

山口縣豐浦郡彦島町一名二十三日眞症ト決定

同縣 累計

眞症 一六
保菌者 一

島根縣 累計

眞症 二二
保菌者 二

熊本縣 累計

眞症 一

(部内限二頁、同附録一枚)

海軍公報

第二千九百九十二號

大正十一年九月二十七日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房第三二九二號

大正十一年九月二十七日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

各鎮守府司令長官
各要港部司令官(旅順 膠州 龍口 威海衛 旅順 膠州 龍口 威海衛 旅順 膠州 龍口 威海衛) 殿

參謀會議ノ件

來ル十月二十四日ヨリ三日間ノ豫定ヲ以テ參謀會議開
催候條其府(部)先任參謀ヲシテ同月二十三日迄ニ海
軍司令部ニ參集セシムヘシ
但旅費ハ配布豫算内ニ於テ支辨スル儀ト心得ヘシ
右訓令ス

官房第三二九三號

明治三十八年官房第五七二號ハ之ヲ廢止ス

海軍公報 第二千九百九十二號 大正十一年九月二十七日

大正十一年九月二十七日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

參照
明治三十八年官房第五七二號ハ圓形銀塊(圓銀)及軍用切符
(手票)ヲ使用スル場合ニ於ケル取扱手續ニシテ海軍會計法規
類集上卷三一八頁ニ在リ

○辭令

(各通) 海軍少佐 栗林今朝吉
同 岩水 宗彦
海軍水路中佐 竹内 輝次
第二課勤務ヲ命ス(陸路水路部)

○艦船所在

相定ヲ見セム

○九月二十七日午前十時調

〔横須賀〕 加賀、山城、波島、薩摩、榛名、朝日、

九三一

0300

三笠、鳳翔、長良、北上、滿州、安宅、野風、沼風、
曙風、澤風、沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、
太刀風、秋風、濤風、羽風、島風、春風、
初春、初雪、追風、疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、
潜九、潜八、潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、
潜四六、潜五八、潜一〇、潜一、潜二、潜三、
關東、青島、膠州

【石川島】 鹽

【浦賀】 五十鈴

【萩濱】 明石

【大湊】 樺、桑、潜二六、潜二五、
【函館】 口長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、
木曾、大井、球磨、多摩、天龍、萩、薄、葛、竹、
榎、梨、樅、梯、榆、栗、梅、菱、蕨、草、矢矧、韓崎、
潜二九、潜二八、潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、
潜三九、潜三八、若宮、阿蘇、口如月、神風、初霜、
響、吹雪、有明、武藏

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、
千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、
葵、藤、潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、
潜一六、潜一七、潜二三、潜一九、潜二〇、
潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、潜五一、
大和、劍崎、鶴見

【大坂】 石廊、腰一六
【神戶】 鬼怒、彌二、潜四七、潜五七

【佐世保】 日向、由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、
生駒、敷島、須磨、常磐、最上、淀、神、柏、松、
杉、口檜、櫻、桃、柳、口藤、蓮、口白、野分、
松風、潜二一、潜一八、潜三三、潜三二、潜三一、
潜四五、潜六二、口鷲、鶉、雲雀、鯛、知床、襟裳

【長崎】 彌一
【馬公】 利根、口櫻、橘、樺、桐、潜四三、
潜四二

【新舞鶴】 吾妻、平戸、口若葉、潮、朝風、子日、
口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、
水七二、水七四、水七五、大泊、
【木浦】 梅

【南洋群島】 勝力、松江
【浦鹽】 日進
【亞港】 夕暮、三日月
【泥港】 口夕立、鞍馬丸
【尼港】 千早、白鷺
【港】 口櫻、楨
【港】 新高、八雲
【漢口】 口對馬、宇治
【宜昌】 伏見
【長沙】 岡田
【重慶】 鳥羽

【チントス】 淺間、磐手、出雲

【航海中】

野間(十二日横須賀發「タラカン」へ)
 佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
 野島(二十日「オゼルナヤ」發舞鶴へ)
 第十八小野丸(二十三日「オゼルバフ」發小樽へ)
 高崎(二十四日佐世保發基隆へ)
 春日、榎、檜(二十五日舞鶴發浦潮へ)
 筑摩(二十五日鎮南浦發鎮海へ)
 嵯峨(二十五日漢口發宜昌へ)
 海風、山嵐(二十五日舞鶴發)
 能登呂(二十五日「タラカン」發徳山へ)
 駒橋、卯月(二十六日吳發)
 根(二十六日鎮海發海州邑へ)
 桂(二十六日鎮海發龍岩浦へ)
 浦波、磯波(二十六日安東發旅順へ)
 綾波(二十六日安東發龍岩浦へ)
 尾橋(二十六日鎮海發濟州邑へ)
 洲崎(二十六日大湊發横須賀へ)
 室戸(二十六日佐世保發吳へ)
 神威(二十六日「カムデン」發紐育へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
特務艦膠州宛

九月三十日迄到着見込ノモノハ、横須賀
其ノ後ハ、吳郵便局留置

特務艦青島宛

十月三	日迄到着見込ノモノハ	吳
同 七	日迄 同	徳山
同 三十	日迄 同	佐世保
十一月四	日迄 同	舞鶴
同 九	日迄 同	徳山
同 十二	日迄 同	吳
同 二十六	日迄 同	横須賀
十二月四	日迄 同	大湊
其ノ後ハ		横須賀

○ 第九驅逐隊(追風、疾風、彌生)行動豫定

地名	着	發
横須賀		十月十六日
鳥羽	十月十七日	十月十八日
由良内(肥州)	十月十八日	十月十九日
多度津	十月十九日	十月二十一日
宮島	十月二十一日	十月二十二日
吳	十月二十二日	

海軍公報 第二千九百九十二號 大正十二年九月二十七日

九三三

0302

海軍公報 第三千九百九十二號 大正十一年九月二十七日

九三四

○第二十二驅逐隊行動豫定表

月日	楠	梅	桂	楓
九月二十五日	鎮海發	鎮海發	鎮海發	鎮海發
二十六日	鎮海發	鎮海發	鎮海發	鎮海發
二十七日	濟州邑	木浦	龍岩浦	海州邑
二十八日	木浦	海州邑	龍岩浦	海州邑
二十九日	木浦	海州邑	龍岩浦	海州邑
三十日	木浦	海州邑	龍岩浦	海州邑
十月一日	仁川	仁川	仁川	仁川
二日	仁川	仁川	仁川	仁川
三日	仁川	仁川	仁川	仁川
四日	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦
五日	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦
六日	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦	龍岩浦
七日	海州邑	海州邑	海州邑	海州邑
八日	海州邑	海州邑	海州邑	海州邑
九日	鎮海着	鎮海着	鎮海着	鎮海着
十日	鎮海着	鎮海着	鎮海着	鎮海着

○虎列刺發生報 (九月二十六日)
(内務省衛生局)
 長崎縣北松浦郡大島村二十七日ヨリ隔離中ノ一名二十
 五日眞症ト決定
 避病舎ニテ看護人一名二十四日發病二十五日眞症ト決

定
 同縣 累計 眞症 一九名
 保衛者 一名

海軍按手動七等菊池倉吉ハ本月二十三日死去

(部内限一頁)

0303

海軍公報

第二千九百九十三號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十八日(木)

○令 達

官房第三三〇三號 昭和十三年第一九二號附則
ニテ本府廢止

豫後備役海軍軍人就職仲介ニ關スル手續左ノ通定ム

大正十一年九月二十八日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

豫後備役海軍軍人就職仲介ニ關スル手續

第一條 豫後備役海軍軍人ノ就職仲介ニ關スル事務ハ
士官ニ在リテハ海軍省人事局、特務士官以下ニ在リ
テハ在籍鎮守府ノ海軍人事部ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 海軍省人事局長及海軍人事部長ハ公益職業紹
介所、各官衙、學校、會社其他各種團體等ト連絡ヲ
保持シ職業ノ需要供給ニ關スル狀況ヲ調査シ必要ニ
應ジ豫後備役海軍軍人ノ就職ニ付其ノ仲介ヲ爲スモ
ノトス

第三條 豫後備役海軍軍人ニシテ就職ヲ希望スル者ハ

別紙ニ現役中ノ履歷書壹通ヲ添ヘ士官ニ在リテハ海
軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ各其ノ在
籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ申請スルコトヲ得

第四條 豫後備役海軍軍人ニシテ前條ニ依ル申請後本
手續ニ依ラスシテ就職シタルトキ又ハ本手續ニ依リ
就職シタル後離職シタル場合ニハ其ノ旨速ニ士官ニ

在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテ
ハ在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通報スルモノトス

第五條 前諸條ノ規定ハ准士官以上ニ在リテハ離現役
前ノ待命者ニ下士官兵ニ在リテハ離現役前ノ入團中
及歸休中ノ者ニ對シ之ヲ準用ス

第六條 海軍省人事局長及海軍人事部長ハ隨時職業ノ
需要供給及就職ヲ容易ナラシムヘキ手段等ニ關スル
情報並所見ヲ關係アル各部ニ通報シ相互ノ聯絡ヲ圖
ルモノトス

別紙書式

海軍公報 第二千九百九十三號 大正十一年九月二十八日

九三五

0304

役種	官(等級)	氏名	年令 (申請當時)	現住所
希望要件				
職業	勤務地方	給額(月額)	其他ノ要件	
第一希望				
第二希望				
第三希望				
海軍雜項役ノ履歴(職業ノ履歴及交際ノ履歴ヲ詳記スルニトス)				
特務士官以下ハ在籍維持府ヲ役種ニ又特修兵ハ官又ハ等級ニ附記スルモノトス				
記註要旨				

○通牒

官房第三三〇三號ノ二 昭和十三年重第一九二號附則
ニ依リ本號自然消滅

自然消滅 海軍次官 井出謙治

消滅 各應長殿

今回官房第三三〇三號ヲ以テ豫後備役海軍軍人就職仲介ニ關スル手續令達相成候處該業務ノ實施ニ當リ其ノ實績ヲ舉クルコト容易ナラサルハ察知スルニ難カラズ候茲ニ於テカ之カ當事者ハ勿論其ノ他一般諸官ニ於テモ相互救済ノ親情ヲ以テ之ニ協力シ其ノ實績ヲ舉クルコトニ御留意相成度
右依命申進ス

○艦船所在

▲印ハハヤク
指定ヲ要セス

○九月二十八日午前十時調

【横須賀】 加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、三笠、風翔、長良、北上、湖州、日野、沼風、日笠、澤風、沖風、矢風、日帆、夕風、沙風、太刀風、日秋、瀨風、羽風、島風、日春、初春、初雪

0305

石川島 五十鈴
 浦賀 明石
 雄勝 樺、桑、口潜二六、潜二五、武藏
 大湊 口長門、陸奥伊勢、口金剛、霧島、比叡、
 口木曾、大井、球磨、多摩、口天龍、口萩、海、口竹、
 口榎、梨、櫻、口柿、榆、栗、梅、口菱、蕨、口矢矧、韓崎、
 口潜二九、潜二八、潜三〇、口潜三五、潜三四、潜三六、
 口潜三九、潜三八、若宮、阿蘇、口有明、如月、神風、
 初霜、響、吹雪
 吳 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、
 駒橋、千歲、口菊月、長月、水無月、藤、卯月、口潜一〇、
 潜一一、潜一二、口潜一三、潜一六、潜一七、
 口潜二三、潜一九、潜二〇、口潜二七、潜二二、潜二四、
 潜三七、潜四四、潜五一、大和、劍埼、鶴見
 大坂 驅一六
 神月 鬼怒、驅二、潜四七、潜五七、石廊
 佐世保 日向、由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、
 生駒、敷島、須磨、常磐、最上、淀、口神、柏、松、
 杉、口檜、桃、柳、口夢、蓮、口白雪、後、野分、
 松風、口潜二一、潜一八、口潜三三、潜三二、潜三一、

神浦 潜四五、潜六二、口鷲、鶴、雲雀、鶴、知床、襟裳
 長崎 驅一
 馬公 利根、口櫻、橘、樺、桐、口潜四三、
 潜四二
 基隆 高崎
 新舞鶴 吾妻、平戸、口若葉、湖、朝風、子日、
 口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、
 水七二、水七四、水七五、大泊、野島
 鎮海 筑摩
 濟州邑 口楠
 木浦 楓
 海州邑 楓
 旅順 口浦波、磯波、綾波
 南洋群島 勝力、松江
 浦鹽 口春日、日進、榎、檜
 亞港 夕暮、三日月
 泥港 口夕立、鞍馬丸
 尼港 口千早、白露
 港 口櫻、榎
 漢口 新高、八雲
 宜昌 口對馬、宇治
 長沙 伏見
 重慶 口岡田、鳥羽

陸軍公報 第二千九百九十三號 大正十一年九月二十八日

九三七

0306

【タラカン】 野間
【サントス】 ト淺間、磐手、出雲
【紐育】 神威

【航海中】

佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
第十八小野丸(二十三日「オセルパン」發小樽へ)
嵯峨(二十五日漢口發宜昌へ)
[海風、山嵐(二十五日舞鶴發)
能登呂(二十五日「タラカン」發徳山へ)
桂(二十六日鎮海發龍岩浦へ)
洲崎(二十六日大湊發横須賀へ)
室戸(二十六日佐世保發吳へ)
安宅(二十七日横須賀發大阪へ)
[谷風、江風、菊、葵(二十七日吳發)

○雜款

○總代
皇太子殿下、良子女王殿下、御結婚ノ儀今二十八日御
成約被爲在候ニ付テハ勅、奏任官總代トシテ
天皇
皇后兩陛下及皇太子殿下へ參賀ノ爲參内スヘキ旨左記
諸管へ通達セラレタリ

勅任官總代 海軍少將 宮治民三郎
奏任官總代 海軍軍醫大佐 限川 基

○司令驅逐艦變更
第八驅逐隊司令ハ昨二十七日司令驅逐艦ヲ如月ヨリ有
明ニ一時變更セリ

○郵便物發送先
特務艦野鳥宛
當分ノ間
新舞鶴郵便局氣付

○虎列刺發生報 (九月二十七日)
長崎縣南松浦郡若松村ニ二十六日眞症一名發生系統不
明
同縣 累計 眞症 二〇名
保菌者 一名

○正誤
本月二十六日本欄特務艦野間宛郵便物發送先ハ誤

(部内限ナシ)

0307

海軍公報

第二千九百九十四號

海軍大臣官房

大正十一年九月二十九日(金)

○通牒

軍第五五九號

大正十一年九月二十九日

海軍省軍務局長 大角 岑 生

關係廳長殿

諸團體ノ狀況ニ關スル件

海軍軍人又ハ軍屬ヲ以テ組織スル諸團體(修養、慰安、救濟等ヲ目的トスル下士官兵集會所ノ類)ノ狀況承知致度候間貴廳所在地ニ設備ヲ有スルモノニ付大正十年度(會計年度若ハ特ニ定メタル年度)ニ於ケル事業並會計ノ大要御通報方可然御取計ヲ得度

右照會ス

追テ特ニ規定アルモノ及既ニ通報済ノモノハ御通知ニ及ハス候

總豫第四三三號

海軍公報 第二千九百九十四號

大正十一年九月二十九日

九三九

大正十一年九月二十九日

海軍省經理局長 志 佐 勝

大正十一年度歳出臨時部受託造修費ノ款項雜費ノ目解疏中「特ニ」ノ上ニ「工事監督ノ爲」ヲ追加セラル右依命通知ス

○辭令

○大正十一年九月二十七日

任海軍屬 飯島 元太郎

給七級俸

海軍屬 飯島 元太郎

海軍省經理局附ヲ命ス(協同海軍省)

給五級俸

海軍書記 土屋半右衛門

海軍書記 土屋半右衛門

依願免本官(以上協同海軍省)

○艦船所在

△印ハハカレノ指定ヲ更セス

○九月二十九日午前十時開

【廣須賀】 加賀、山城、安藝、薩摩、樺名、朝日、

三等、鳳翔、長良、北上、滿州、野風、沼風、峯風、

淨風、沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、太刀風、

秋風、灘風、羽風、島風、春風、初春、初雪、

追風、疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、潛九、潛八、

潛一四、潛一五、潛四〇、潛四一、潛四六、潛五八、

鷗、鴻、雉、白鷹、富士、尻矢、關東、青島、

膠州、洲崎

【石川島】 龍

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 樺、桑、潛二六、潛二五、武藏

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、

駒橋、千歲、菊月、長月、水無月、谷風、江風、菊

葵、松、卯月、潛一〇、潛一一、潛一二、潛一三、

潛一六、潛一七、潛二三、潛一九、潛二〇、

潛二七、潛三二、潛三四、潛三七、潛四四、潛五一、

大和、劍崎、鶴見、室戶

【大阪】 安宅、驅一六

【神戶】 鬼怒、關二、潛四七、潛五七、石廊

【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、

敷島、須磨、常磐、最上、淀、神、柏、松、

杉、檜、桃、柳、蓮、白雲、鞍、野分、

松風、潛二一、潛一八、潛三三、潛三二、潛三一、

潛四五、潛六一、潛、鶴、雲雀、編、知床、襟裳

【神浦】 櫻

【長崎】 驅一

【馬公】 利根、櫻、橋、樺、桐、潛四三、

【基隆】 高崎

【新舞鶴】 吾妻、平戶、若葉、潮、朝風、子日、

【時津風】 磯風、天津風、濱風、波風、水七三、

【水七二】 水七四、水七五、大泊、野島

【鎮海】 筑摩

【木浦】 梅

【海州邑】 楓

【鎮南浦】 桂

【旅順】 浦波、磯波、綾波

【南洋群島】 勝力、松江

【浦鹽】 口春日、日進、榎、檜

【サマルガ】 口海風、山風

【亞港】 夕暮、三日月

【泥港】 口夕立、鞍馬丸

【尼港】 口早、白霧

【ベ港】 口櫻、楓

【漢口】 新高、八雲

【宜昌】 口對馬、宇治

【長沙】 伏見

【重慶】 口對馬、宇治

【タラカン】 野間
 【サントス】 浅間、磐手、出雲
 【紐 育】 神威

【航海中】

佐多(十八日横須賀發「タラカン」へ)
 第十八小野丸(二十三日「オゼルバン」發小樽へ)
 機敏(二十五日漢口發宜昌へ)
 能登呂(二十五日「タラカン」發徳山へ)
 区桶(二十七日濟州邑發木浦へ)
 口長門、陸奥、伊勢、△金剛、霧島、比叡、△木曾、大井、
 球磨、多摩、△天龍、△萩、海、萬、△竹、榎、梨、樞、
 △柿、檜、栗、梅、△菱、嶽、葦、△矢矧、韓崎、△潜二九、
 潜二八、潜三〇、△潜三五、潜三四、潜三六、△潜三九、
 潜三八、若宮、阿蘇、△有明、如月、神風、初霜、響、
 吹雪(二十八日函館發横須賀へ)
 日向(二十八日佐世保發元山へ)
 明石(二十八日雄勝發測量地へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
 第九驅逐隊(追風、疾風、彌生)宛

海軍公報 第二千九百九十四號 大正十一年九月二十九日

九四

十月十五日迄到着見込ノモノハ 横 須 賀
 其ノ後ハ 吳
 特務艦鶴見宛
 十月十日迄到着見込ノモノハ 吳
 其ノ後ハ 佐 世 保

○虎列刺發生報(九月二十八日
 内務省衛生局)
 二十七日福岡縣八幡市ニ眞症一名發生ス入院隔離中ノ
 發病ナリ
 佐賀縣小城郡北多久村ニ眞症一名、疑似症二名發生ス
 系統調査中

福岡縣	累計	眞症	一七三
		疑似症	一二三
		保菌者	三
佐賀縣	累計	眞症	二
		疑似症	二

○正誤
 十二 海軍諸例則 卷一 (第十五回改正補換)
 二三頁 九行 「第三十二條法務局ノ職員ハ海軍高等
 軍法會議ノ事務ニ服ス」ハ「第三十
 二條削除」
 同 十行 「第三十二條」ハ「第三十三條」

海軍公報 第二千九百九十四號 大正十一年九月二十九日

九四二

退役海軍大尉從六位勳五等稻生震也九月二十六日
死去セリ

豫備役海軍大尉正七位勳五等梶原五郎九月二十八
日死去セリ

(部内限一頁)

0311

海軍公報

第二千九百九十五號

大正十一年九月三十日(土)
海軍大臣官房

○辭令

海軍大佐 大湊直太郎

海軍武功調査委員ヲ命ス

大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員ヲ命ス
戰捷記章授與調査委員ヲ命ス

海軍軍醫大尉 鈴木忠次

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス

海軍軍醫大尉 上原純之助

(各通)

海軍屬 宮下理英

同 吉田鎌三郎

海軍技手 小山半藏

給一級俸

海軍書記 有村諒介

海軍技手 芝崎定治郎

(各通)

同 平賀瀧藏

同 矢島吉夫

同 工藤善次郎

同 金子謙二

給二級俸

海軍書記

羽島榮次

同 中島敏成

北川魁一

海軍技手

島森豊吉

同 川嶋龜太郎

向井義正

同 同

竹田亭

海軍屬

永長嶋吉

同 北島七三

譽田幾太郎

海軍書記

森田勇介

同 同

演永林助

海軍技手

島村德太郎

同 同

江角金市

同 同

平松秀三

同 同

三宅吉之助

同 同

野田佐吉

同 同

野口正雄

同 同

吉田憲太郎

同 同

九四三

海軍公報 第二千九百九十五號 大正十一年九月三十日

給月俸七拾圓

(各通)

海軍編修書記 永塚賢
 同 金子壽彦
 同 三堀平作
 同 秋山庄作
 同 山村市良
 同 海津吉之助
 同 安藤俊郎
 同 飯塚清藏

給七級俸

(各通)

海軍屬 相原章
 同 田中梅太郎
 同 海軍書記 原一博
 同 丸山慎一
 同 金子一守
 同 吉澤仙太郎
 同 小脇清治
 同 海軍編修書記 早川友惠
 同 海軍技手 鈴木雪樓

給月俸六拾圓

海軍屬 平田豊年
 同 山口莊
 同 三浦昇
 同 海軍書記 栗山市作

(各通)

給八級俸

同 鹽塚悦三
 同 海軍編修書記 原誠浩
 同 海軍技手 小川義士

給月俸五拾貳圓

(名通)

海軍屬 梶益三
 同 海軍書記 中根次郎
 同 海軍書記 鈴木一郎

給九級俸

(各通)

海軍屬 坂田文雄
 同 海軍屬 山口清二
 同 海軍書記 山中清一
 同 海軍書記 渡邊秀雄

給月俸四拾七圓

(各通)

海軍屬 川崎宗一
 同 海軍屬 住本徳治

給月俸四拾貳圓(以上均海軍省)

○艦船所在

▲印ハ艦名ヲ示ス

○九月三十日午前十時調

0315

【横須賀】 加賀、山城、安藝、薩摩、鎌名、朝日、
 三笠、鳳翔、長良、北上、蒲州、野風、沼風、日峯風、
 澤風、沖風、矢風、日帆風、夕風、沙風、太刀風、
 日秋風、灘風、羽風、島風、日春風、初春、初雪、
 日追風、疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、日潜九、潜八、
 日潜一四、潜一五、潜四〇、潜四一、潜四六、潜五八、
 日鷗、鴻、雉、白鷹、富士、尻矢、關東、青島、
 膠州、洲崎、
 【石川島】 鹽
 【浦賀】 五十鈴
 【大湊】 椿、桑、日潜二六、潜二五、武藏
 【奥】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、
 駒橋、千歲、日菊月、長月、水無月、日谷風、江風、菊
 葵、藤、卯月、日潜一〇、潜一一、潜一二、日潜一三、
 潜一六、潜一七、日潜二三、潜一九、潜二〇、
 日潜二七、潜三二、潜三四、潜三七、潜四四、潜五一、
 大和、劍崎、鶴見、室戸
 【大坂】 安宅、驅一六
 【神戶】 鬼怒、驅二、潜四七、潜五七、石廊
 【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、
 敷島、須磨、常磐、最上、淀、日榊、柏、松、
 杉、日柏、桃、柳、日蓼、蓮、蓬、日白雪、霞、野分、
 松風、日潜二一、潜一八、日潜三三、潜三二、潜三一、
 潜四五、潜六二、日鷲、鶉、雲雀、鯛、知床、徳裳
 【神浦】 煙

【長崎】 驅一
 【馬公】 利根、日櫻、橘、椿、桐、日潜四三、
 潜四二
 【基隆】 高崎
 【新舞鶴】 香妻、平月、日若葉、湖、朝風、子日、
 日時津風、磯風、天津風、濱風、波風、日水七三、
 水七二、水七四、水七五、大泊、野島
 【鎮海】 筑摩
 【木浦】 榊
 【海州邑】 楓
 【鎮南浦】 桂
 【旅順】 日浦波、綾波
 【南洋群島】 勝力、松江
 【浦鹽】 日春日、日進、榎、楢
 【サマルガ】 日海風、山風
 【亞港】 日夕立、鞍馬丸
 【泥港】 日夕早、白露
 【尼港】 日樟、榎
 【ペ港】 新高、八雲
 【漢口】 日對馬、宇治
 【長沙】 日田
 【重慶】 鳥羽
 【タラカン】 野間
 【サントス】 日淺間、磐手、出雲

海軍公報 第二千九百九十五號 大正十一年九月三十日

九四七

0316

